

【優秀賞】

私を通して見る自分らしく生きる権利

大手前丸亀中学校【非公表】

私は過去に友達とのやり取りで相手を傷つけてしまったことがある。友達の容姿を傷つく表現で笑ってしまった。私は、軽い冗談で笑いながら言った。彼と一緒に笑っていたことで私は何も感じていなかったが、まわりの人に注意された。

「君は冗談かも、何事もない会話かもしれないけれど、友達の容姿を何かに例えて笑うのはいけないことだと思うよ。相手は傷ついて悲しかったんじゃないかな。」

注意をされてやっと相手を傷つける言動を取っていたことに気づいた。勇気をふりしぼって謝ると、「いいよ……次からは言わないでね。」と友達は許してくれた。

私はこれまでも何度か相手を不快にさせてしまったことを思い出した。それは傷つけようとしている、悲しい気持ちにさせたいと思っている訳では決してない。ただ、結果として傷つけてしまったのだ。私には生まれ持った癖というか特徴がある。それは、ただの性格のひとつなのか病気なのかはわからないが、付き合い続けなければならぬ特徴なのである。

興味がわからないことに集中できない、人に話しかけられてもその内容を覚えたり整理したりすることが苦手、物の場所がわからなくなったり忘れ物が多くなる、相手との会話中も話の内容が入ってこなくてリアクションが取れない、怒られたときに笑った顔になってしまう：などである。私が付き合っている特徴は注意欠如といわれ、発達障害のひとつである。保育所や小学生のうちから病院に通ったり、薬を飲んでいたりしているが、私の中でこの特徴をつかめていない。いろいろと

両親や医師がアドバイスをくれるけれど、うまく付き合えているとはいえない。

ただ、はじめにあった出来事も私のそんな特徴によって起きたことは理解できた。障害だから何でも許して欲しいと思っっている訳ではない。私の特徴を自分も含めて知ってもらうこと、まわりの人々とのかわりの中で自分自身気をつけること、私とのやり取りで相手に助けてもらいたい部分を伝えることは、とても大切であると考えてる。それは、きっと私のような少しみなさんより苦手なことが多い特徴の人が世の中で互いに支え合って、生きやすい世界をつくるために必要であると思う。

まず、「私を知る、そして知ってもらうこと」だ。この作文を書いたことをきっかけに自分とはどんな人なのかを書き出してみた。家族にも質問した。欠点ばかりが出てくるのかと思ったら、私の笑顔で元気になる、漫画本を読んでいる時の集中力はすごい等、相手にいいなど思われている部分やほめられた部分も知ることができた。得意な内容以外は口数が少ないので、実際のところ困ったり助けが必要な時に助けてと言えなかったりすることを家族から理解してもらおうよう話し合いを行った。私の気持ちや考えが少しずつ理解できたと、家族もわからないモヤモヤした気持ちがあったことに気づいた。

次に、「かわりの中で自分自身気をつけること」については、学校の間に少しずつやっていたメモを取ることが恥ずかしくてできていなかったのも再チャレンジする、相手と話をする時は相手が私を見ているか、どんな表情をしているかを見るように努力する、会話の中で相づちや返事をする、話の最後に相手に内容や約束事を確認することである。たくさんのことを同時にやることも苦手なので、何かの場面ごとに工夫することをひとつ決めて気をつけていきたい。

三つ目に、「相手に助けてもらいたいことを伝えること」だが、先に

書いた最後に話の内容や約束事を確認する時を一緒に作ってもらおう、私との約束事はなるべく具体的に決めてもらうことである。国語や英語で習う5 W I Hの要素のように詳しく確認して欲しいのだ。皆と違う思い込みや理解で違う条件で受け取ってしまうことがあるため、まわりには協力して欲しいと思う。また、この機会にお願いしたいことは、私とのかかわりの中で嫌な思いや不快、悲しい思いをした時はそれを私に知らせて欲しいのである。相手の表情から気持ちを読み取ることが苦手なので、相手がうれいいのか悲しいのか理解しにくくそれによって傷つけてしまったことがあった。私が皆の気持ちに気づけるようにきっかけを作って欲しいのだ。

私は、いろいろな苦手がある。でも、世の中には同じような特徴やいろいろな苦手と向き合っている方がたくさんいると思う。過去の失敗を通して、今回自分の特徴と向き合い、振り返ることで自分やまわりの人達について考えることができた。私のまわりのすべての人達と個人を尊重しながら支え合つてともに認め合つて笑顔で暮らしていきたい。